

HiZ-GUNDAM (High-z Gamma-ray bursts for Unraveling the Dark Ages Mission)

“時間領域天文学”と“マルチメッセンジャー天文学”への貢献

主要課題1: ガンマ線バースト(GRB)を用いた初期宇宙探査

主要課題2: 重力波天文学の推進

観測戦略

- (1) 広視野X線撮像検出器による暗いGRBやX線突発天体の発見
- (2) 自律制御による衛星の姿勢変更
- (3) 近赤外線望遠鏡を用いた高赤方偏移GRBやキロノヴァの同定
- (4) 観測情報のアラート送信
- (5) 大型望遠鏡による高赤方偏移GRBや重力波天体の分光観測



JAXA宇宙研のプリプロジェクト移行審査に合格

2021/01/18: プリプロ候補移行審査(説明会)

2021/02/12: 本審査

- ・ ISAS の予算プロファイルに見合った開発計画、調達計画、プリフェーズA2計画等の改訂
- ・ ESA M5 の候補であった THESEUS の採否を把握した上で HiZ-GUNDAM の総合的な意義・価値および最適化が必要

2021/06/10: ESA M5 として金星探査ミッション EnVision が選定

2021/10/28: プリプロ候補移行審査(再審査・説明会)

2021/11/26: 再審査・本審査 → **合格**

- ・ HiZ-GUNDAM の科学的意義は高く、ミッション目的は妥当である
- ・ ミッション目的を達成する必要十分なシステム構成を精査し、システム仕様に反映させる
- ・ アラートシステムの位置付けの明確化と品質・信頼性保証の要求の設定

2021/12/22: プリプロ候補チームの設置

2022/02/10: CML4 確認会